

3年間の思いをこの大会に

◎北宇和高校馬術部 高校生引退試合



新型コロナウイルス感染症の影響により、インターハイが史上初めて中止となったことを受け、それぞれの部活では「代替大会」が開催されています。馬術部では、8月9日、インターハイ予選に代わる「高校生引退試合」が新居浜市で行われ、北宇和高校馬術部13名が出場しました。

大会前の8月7日には、大会会場に馬を連れていくため、北宇和高校で飼っている3頭の馬を専用の車に乗せて移動。うち1頭の馬は、競走馬で有名な「ディーブインパクト」の子どもです。

そして9日の大会には、ネクストエイジ育成強化選手やジュニアチームの選手も出場。北宇和高校の生徒たちはそれぞれ5つの競技に分かれて出場し、全ての競技で上位に入る好成績を収めました。

部班競技で1位、小障害飛越競技80cmで2位と3位に入賞した北宇和高校馬術部部長の菊地咲さんは「インターハイ予選が中止になったと聞いたときはとても残念でしたが、引退試合が開催されとても嬉しかったです。大会では練習の成果を発揮することができました。最後に大会関係者にもお礼を伝えることができ、良い大会にすることができました」と、嬉しそうに話していました。

明るい音楽とダンスで地域を元気に

◎まちなかよさこい



8月23日、ダンスチーム広蓮とふくしか音楽教室による「まちなかよさこい」が開催されました。広蓮とふくしか音楽教室の子どもたち56人が参加。華やかな衣装を着た子どもたちの元気いっぱいのダンス、軽快な合奏や合唱で、訪れた人々を楽しませました。

ダンスは、鬼北建設会館、ニュータウンきほくの里、高田商店前の3カ所で披露。ニュータウンきほくの里では、封鎖した道路上で「ガイヤオンザロード」を踊りました。

また、アエレルきほく前では、青年団によるかき氷、ポップコーンや池添農園のいちごスムージーなどの屋台が出展され、イベントを盛り上げました。

ダンスチーム広蓮代表の福鹿理恵さんは「子どもたちは、昨年12月から今年のでちこんかに向けてダンスの練習に取り組んできました。でちこんかは中止となってしまいましたが、今回、多くの人たちの前で練習の成果を披露することができ、子どもたちも私たちも楽しかったです」と、笑顔で話していました。